

北里大学東病院精神神経科外来を受診した情緒不安定性パーソナリティ障害の臨床的特徴の調査について

情緒不安定性パーソナリティ障害は、対人関係において気分不安が生じたり、他のうつ病などの精神症状とも合併することも多い精神疾患と考えられています。

生まれ育った環境や、ご家族との関係などの環境的要因も精神症状に関わることもあるため、臨床的経過をすることは、患者様を支えさせていただき、医療スタッフである我々の治療や方針を考えさせていただく上でも重要な参考資料になると考えられております。

大学病院での長期経過における予後等の報告は乏しく、ここ数年では発達障害を含め、精神科診断基準の変化もあり調査が難しい状況となっております。

北里大学東病院精神神経科は、これまで臨床における精神疾患患者様の治療および研究において、多くの実績をあげてきました。このたび、「北里大学東病院精神神経科外来を受診した情緒不安定性パーソナリティ障害の臨床的特徴の調査について」を行うこととなりました。

この研究の目的は、今後の患者さんの治療や医療の質の向上に役立たせることで、患者様の背景や症状、長期的予後を調査する予定です。

調査対象となるのは、1999年4月1日から2017年3月31日までに、北里大学東病院精神神経科外来を受診した患者様で、精神科診断が、情緒不安定性パーソナリティ障害境界型か、境界性パーソナリティ障害の患者様です。

本調査はすべて既存のデータのみであり、データ上すべての患者様は匿名化され、お名前、ご住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありません。また、何らかの負担が生じることもありません。カルテから得られる受診に至った経緯や治療内容等を調査したデータは、北里大学東病院にて集計後、解析を行います。

データについては、研究期間中は、研究責任者のもとで厳重に管理され、研究終了後に紙媒体の資料はシュレッダーにて廃棄され、電子データは匿名化した状態で完全に消去させていただきます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌などで報告させていただくことがあります。

このお知らせは2017年8月31日まで北里大学東病院院内に掲示します。本研究の調査対象の患者さまで調査への診療情報の提供に同意されない方は2017年8月31日までに研究責任者まで、お申し出いただくことも可能です。尚、この臨床研究への診療情報の提供を拒否されても診療に不利益はありません。

この件に関しまして、ご質問などがございましたら、下記研究責任者に遠慮なくお尋ね下さい。

研究責任者：北里大学医学部精神科医学講座
新井久稔（あらいひさとし）
電話：042-778-8285

